

黄熱ワクチンに関する

Q & A



文部科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）

2020年度基盤研究（C）

「黄熱ワクチン接種の効果に関する研究」

（20K10354）

研究責任者： 東京医科大学病院 渡航者医療センター 福島慎二

▶ 黄熱とはどんな病気ですか？

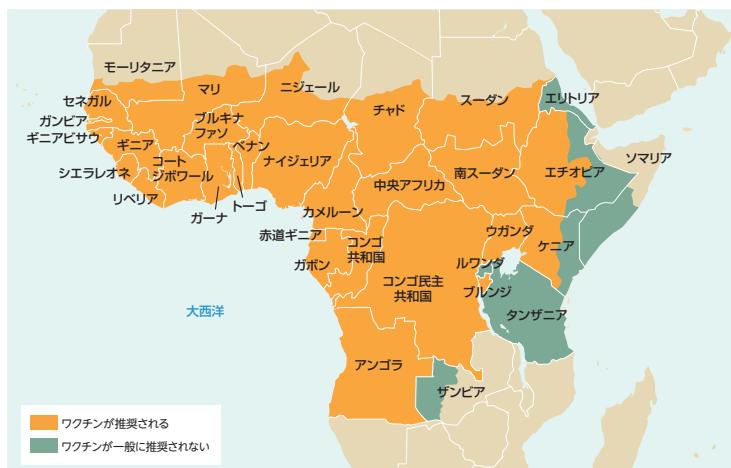
黄熱は蚊に媒介される感染症です。

黄熱ウイルスによって起こり、流行地域はアフリカや中南米の赤道周辺になります。

通常3～6日の潜伏期間の後、発熱、頭痛、嘔吐などの症状がみられます。重症化すると出血症状、肝機能障害、腎機能障害などを起こし、死亡するケースが多くなります。

黄熱に特化した治療法はなく、予防には蚊に刺されないようにするとともに、黄熱ワクチンの接種を受けておくことが大切です。

黄熱の流行国



Yellow Fever | CDC Yellow Book 2024から引用(一部修正した)

詳しくは、厚生労働省検疫所ホームページを参照してください。

▶ 黄熱ワクチンの接種回数や 有効期間を教えてください？

黄熱ワクチンは病原性を弱めたウイルスを用いた生ワクチンで、接種回数は1回だけです。接種10日後には90%の接種者で、接種14日後にはほぼ100%の接種者で十分な免疫が得られます。この免疫効果は一生持続するとされています。

黄熱ワクチンは、検疫所や指定された一部の医療機関で接種を受けることができます。こうした施設では接種を計画的に実施しており、事前の予約が必要です。

黄熱の流行国への渡航を計画している人には、黄熱ワクチン以外の予防接種やマラリア予防薬の服用を推奨する場合があります。早めに受診し、黄熱を含めた総合的な対応を受けるようにしましょう。



▶ 黄熱予防接種証明書(イエローカード)について

黄熱ワクチンの接種を受けると、黄熱予防接種証明書(イエローカード)が発行されます。イエローカードは接種10日後から生涯有効になります。

イエローカードは、入国時や査証取得の際に、提示を求められことがあります。黄熱の流行国への入国時だけでなく、流行国から非流行国に入国する際にも、求められることがありますのでご注意ください。詳細は厚生労働省検疫所ホームページに記載されています。

イエローカード

予防接種又は予防薬の国際証明書 INTERNATIONAL CERTIFICATE OF VACCINATION OR PROPHYLAXIS					
氏名 This is to certify that (name) } whose signature follows } 国籍 nationality } 署名 whose signature follows }	生年月日 , date of birth } , national identification document, if applicable }	性別 , sex }	この証明書は、上記の者が国際保健規則に基づき下記の日付に (疾患名又は症候名) has on the date indicated been vaccinated or received prophylaxis against: (name of disease or condition) } の予防接種又は予防薬の投与を受けた事を証明するものである。 in accordance with the International Health Regulations.		
ワクチン又は 予防薬名 Vaccine or prophylaxis	年月日 Date	接種監督医師の所属と署名 Signature and professional status of supervising clinician	ワクチン、予防薬の 製造所と製造番号 Manufacturer and batch No. of vaccine or prophylaxis	証明書の有効期間 Certificate valid from _____ until _____	管理機関の公印 Official stamp of administering centre

▶ 黄熱ワクチンの副反応について教えてください？

黄熱ワクチンは、長年にわたり多くの国で使用されてきた安全なワクチンですが、以下のような副反応が起きことがあります。

- 1) 軽度の副反応：接種を受けてから約1週間の間に、接種部位の発赤や腫れ、発熱、頭痛、筋肉痛、全身倦怠感、じんましん等の症状が起こることがあります。頻度は接種者の25%ほどで、通常は2～3日で改善します。
- 2) 重度の副反応：大変稀ですが以下の副反応があります。
 - ・アナフィラキシー（重度のアレルギー反応）：ワクチンに含有される卵やゼラチンなどが原因になります。
 - ・神経系の副反応：乳児を中心に、脳炎やギランバレー症候群などが起こることがあります。
 - ・多臓器不全：60歳以上で起こりやすくなります。

なお、黄熱ワクチンの接種が受けられない人、接種時に注意が必要な人は下記になります。

接種が受けられない人	接種時に注意が必要な人
<ul style="list-style-type: none"> ・生後9か月齢未満の小児 ・免疫機能に異常をきたす病気にかかっている人や治療を受けている人 ・重篤な急性疾患にかかっている人 ・ワクチン成分でアナフィラキシーを起こしたことがある人 ・胸腺に関連した病気（重症筋無力症、胸腺腫など）にかかったことのある人 	<ul style="list-style-type: none"> ・心血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患がある人 ・妊婦又は妊娠している可能性のある人 ・高齢者 ・鶏卵、鶏肉、ゼラチンなどの食べ物にアレルギーを起こす可能性のある人

▶ ワクチン以外で黄熱を予防する方法はありますか？

黄熱の流行国では、蚊に刺されないように注意してください。蚊の多い場所では、長袖、長ズボンを着用し、皮膚の露出を控えるとともに、昆虫忌避剤（虫よけスプレー）を使用しましょう。雨季は蚊が多くなるので、とくに注意が必要です。また、黄熱を媒介する蚊は昼間吸血するので、昼間、蚊に刺されないことが大切です。

日本国内では、「ディート」や「イカリジン」を成分とした昆虫忌避剤が市販されています。これはアフリカや中南米の蚊にも効果があります。製品の用法・用量や使用上の注意を守って使用しましょう。各製品の効果は、蒸発、雨、発汗などにより持続性が低下するので、一定の効果を得るために定期的に塗布が必要です。



▶ その他に黄熱ワクチンに関して多い質問

① 高齢者への接種

高齢者では発熱や全身倦怠感などの副反応が起こりやすく、稀に起こることのある多臓器不全の頻度も増します。高齢者が流行国に滞在する場合は、黄熱に感染するリスクと副反応発生のリスクを検討した上で、接種するか否かを判断します。

② 妊娠中の者への接種

妊娠に黄熱ワクチンを接種すると、自然流産が増えるという報告と、奇形や死産の増加はないという報告があります。このため、妊娠についても、黄熱に感染するリスクと副反応発生のリスクを検討した上で、接種するか否かを判断します。

③ 子どもへの接種

小児では神経系の副反応の発症リスクが高くなるため、通常、生後9ヶ月未満の小児には黄熱ワクチンを接種しません。

④ 黄熱ワクチンと他のワクチンの接種間隔

黄熱ワクチン（生ワクチン）と不活化ワクチンとの接種間隔に制限はありません。一方、黄熱ワクチンと他の生ワクチン（麻疹風疹ワクチンなど）との接種間隔は4週間以上が必要です。生ワクチンを接種すると、4週間は黄熱ワクチンの接種が受けられなくなるのでご注意ください。

お役立ち情報

日本のサイト

サイト名	URL
厚生労働省 黄熱に関するQ&Aについて	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000124572_00001.html
厚生労働省検疫所 FORTH 黄熱に注意しましょう！	https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/yellow_fever_certificate.html
海外渡航と病気	https://www.tra-dis.org/

海外のサイト

サイト名	URL
米国CDC Yellow Book 2024 ～Yellow Fever	https://wwwnc.cdc.gov/travel/yellowbook/2024/infections-diseases/yellow-fever
英国 National Travel Health Network and Centre (NaTHNaC) ～Yellow fever vaccine recommendation maps	https://www.nathnacyfzone.org.uk/factsheet/60/yellow-fever-maps

黄熱ワクチンに関するQ&A

発 行：東京医科大学病院 渡航者医療センター 福島慎二
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1
TEL : 03-5339-3726
FAX : 03-3347-5561
e-mail : travel@tokyo-med.ac.jp
URL : <https://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/shinryo/tokou/>

制 作：(株)アイエンタープライズ

■この冊子は、文部科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)の2020年度基盤研究(C)「黄熱ワクチン接種の効果に関する研究(20K10354)」(研究責任者:福島慎二)の助成によって作成された冊子です。